

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (1930), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for overall status and improvement directions.

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	2198	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	日本女子オープンゴルフ選手権におけるあびこPRプロジェクト		実施計画への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		②部課名	環境経済部・商業観光課	
	③事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> その他 ( )			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input checked="" type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input type="checkbox"/> 全市				
	⑤事業期間	平成28年度 ~ 平成29年度			⑥担当職員数	3人 (換算人数) 0.25人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	当 初	4,200千円 (うち人件費 2,200千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2	基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		部門別計画への位置づけ	(計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	商業や農業などの地域産業の活性化を図るため、豊かな自然や農地、歴史・文化など既存の観光資源に加え、新たな観光資源の掘り起こしを行い、それらを積極的に活用していきます。また、我孫子市最大の観光資源である手賀沼周辺では、観光客をさらに呼び込み、もてなす環境づくりに取り組み、交流人口の拡大に努める。平成29年9月28日～10月1日に、我孫子ゴルフ倶楽部で開催予定の第50回日本女子オープンゴルフ選手権に向けて、我孫子の魅力を広く発信していくためのプロジェクト組織（市、市民団体、関係機関などで構成）を立ち上げ、情報発信の取り組み、来訪者へのおもてなしの取り組みなどを検討、準備、実施する。			事業目的	平成29年秋に我孫子ゴルフ倶楽部で開催予定の「日本女子オープンゴルフ選手権」にあわせて、我孫子市の魅力を広く全国に発信することで我孫子のPRを行い、市民にも改めて我孫子のよさを感じてもらおうとともに、観覧者・来訪者にも我孫子により印象を持ってもらい、再来訪のきっかけとする。				
(3) 事業内容	内 容				当該年度執行計画	平成29年4月：プロジェクトによる取り組みへの着手 平成29年5～9月：プロジェクトによる取り組みの準備・実施 平成29年9月27日～10月2日：大会に合わせた取り組みの実施 平成29年11月：取り組みの評価				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指 標	単 位	回	想定値	実績値
当該(開始)年度	日本女子オープンゴルフ選手権で広く我孫子の魅力を発信する。				直接	日本女子オープンゴルフ選手権での魅力発信取り組みの進捗率	%		50	100
3年後					-				0	0
最終(概ね5年後)					-				0	0
(7) 事業実施上の課題と対応	日本女子オープンゴルフ選手権は、権威ある日本ゴルフ協会の公式大会であることから、制約も多く予想され、調整を図ることが課題である。				代替案検討	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
(8) 施行事項	実施内容 費 用	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		
		政 策	内 容	政 策	内 容	政 策	内 容	政 策	内 容	
		* プロジェクト組織の発足		* プロジェクト取組実施のための負担金	2,000					
		* プロジェクト組織での検討								
		* 取り組みの決定・準備								
(9) 財源内訳	予算(済)額	合 計	0	合 計	2,000	合 計	0	合 計	0	
(10) 人件費等	国庫支出金	補助率	0%	補助率	50%	補助率	0%	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	
	一般財源		0		1,000		0		0	
(11) 単位費用	366.67千円/回		1,050千円/回							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	日本女子オープンゴルフ選手権は、もっともメジャーな女子の大会であり、日本ゴルフ協会とNHKの共催で実施され、多くの観覧者が訪れるとともに、全国にその大会の様子が放映される情報発信力の高いイベントである。平成29年秋に行われる日本女子オープンゴルフ選手権での取り組みであるため、前年である平成28年度から準備を進め、29年度にはより効果的な事業として取り組む必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他  ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	●①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他  <その他の内容>		取り組む内容を検討し実施に繋げるため、公募による市民団体、関係機関、市で組織したプロジェクトチームで行っている。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他  <その他の内容> 直接環境に負荷を与える事業ではないが、実施の過程では環境への配慮をしながら進める。						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成	
	50	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	(f/b)×100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100		○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過  ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>	
事業費削減率(%)		<削減の内容> 準備年度である平成28年度には人件費以外の事業費はなかったが、実施年度には取り組みに必要な経費が必要となる。		<超過理由等>					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
	1.19	単 位	費用単位	○①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ●②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------